

JaNet

October 2015 No. 75

季刊ジャネット

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次 2015年10月25日発行

- View from the Other Side 3
さくら日本語学校の皆さん(ルーマニア)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4
神奈川県 横浜市
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5
ルーマニア ブカレスト
- 教材紹介 6
『みんなの日本語 初級 第2版 会話DVD』
『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版(仮)』
『日本語教育叢書「つくる」教科書を作る』
- なんでも情報BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭
寄稿

世界に誇る日本の妖怪文化



小松和彦

国際日本文化研究センター所長

コミックやアニメ、ゲームなどの現代のエンターテインメントには、妖怪的存在がたくさん登場する。とりわけ水木しげるの「ゲゲゲの鬼太郎」や宮崎駿の「となりのトトロ」等の作品を見ながら育った人たちには、妖怪はなじみ深いものがあるだろう。そして今の子どもたちの間では「妖怪ウォッチ」がたいへんな人気である。おそらくこの子どもたちもまた大人になっても妖怪を愛し続けるのではなからうか。そして、こうした妖怪人気に後押しされて、今年の夏も、全国各地の博物館や美術館では趣向をこらした妖怪展が開催されていた。「日本の妖怪文化は世界に誇れる文化だ」という強い思いを抱き、多くの人々が妖怪に関心をもってくれることを夢見て研究してきた私でさえも、現在の妖怪人気は私の想像をはるかにこえている。

なぜこれほど関心を集めているのだろうか。世界的な広がりをもつファンタジー系の小説、映画やアニメ、コミックへの関心の高まりと関係しているのかもしれない。先行きが見えない現代に対する、漠然とし

た不安な気持ちの受け皿となっているのかもしれない。グローバル化し均質化しつつある現実の生活からの脱出の手がかりを妖怪のなかに見出そうと想像力をめぐらしているためかもしれない。あれこれと理由を考えることができる。しかしこれらは周延的な理由にすぎない。何よりも重要な理由は、多くの人々が、日本ではとても豊かな妖怪文化が長い歴史の中で育まれてきたということに気づいたことにある。そして、その延長上に現代の妖怪文化が形成されていることに思い至ったのである。ようするに、例えば水木しげるや宮崎駿や京極夏彦たちの作品や「妖怪ウォッチ」も、そうした妖怪文化から養分をえて創り出されたのである。

では、日本の妖怪文化の特徴はどこにあるのだろうか。

ここでいう「妖怪」とは、「怪異」という言葉で置き換えることもできるような、「神秘的な」「不思議な」「怪しい」「珍奇な」といった思いを想起させる現象や存在のことである。こうした現象や存在に関して、日本人は早くからそれらとの遭遇の体験談を

記録し、そこから物語を紡ぎだし、さらには絵画・造形化をおこなってきた。日本最初の説話集である『日本霊異記』は、「霊異」つまり「怪異・妖怪」関連の説話集である。『今昔物語集』『宇治拾遺物語』などの説話集にもたくさんの怪異・妖怪譚が収録されている。江戸時代には、幾種類もの「百物語」と題した怪談集が編まれている。説話集に限らない。『源氏物語』にも、『平家物語』のような軍記物にも、怪異・妖怪は欠くことのできない要素となっている。上田秋成の『雨月物語』は怪異・妖怪文学(幻想文学)の最高傑作である。日本人は昔から妖怪文化を空気のように吸ってきたのである。

それでは、こうした怪異はどのようにして起こったのだろうか。いかなる存在によって引き起こされたのだろうか。昔の日本人は、それは「もの」によって引き起こされた、と考えていた。この「もの」がなんらかの理由で発動したとき、人々はそれを「もののけ」と表現していた。

ここでいう「もの」とは「霊魂」のことである。日本人はこの世に存在するあらゆる



古い道具が妖怪化した付喪神のほか、さまざまな種類の妖怪たちが練り歩く姿が描かれている。『百鬼夜行絵巻』(国際日本文化研究センター所蔵)

現象や存在には人間と同様に喜怒哀楽をもった靈魂が宿っており、その靈魂が邪念・悪意を抱いたときに災厄をもたらすと信じていた。いわゆるアニミズム的な考え方である。この考えは現代でさえも日本人の信仰・思想の基層に潜んでいる。すなわち、あらゆる現象や存在はすべて妖怪となりうるのである。つまり、潜在的な妖怪の出自・種類は無数にあるわけで、この点に日本の妖怪の特徴を見出すことができるのである。そしてそれらの「もの」が人間に災厄をもたらすときに、それを昔は「鬼」と総称してきた。

鬼といえば、現代日本人は、角をもち筋骨たくましい人間に似た者たちを思い浮かべる。しかし、昔の人が思い描いた「鬼」は、「妖怪」と言い換えてもよいほど多様な姿かたちをしていた。「百鬼夜行」という言葉がある。これはたくさんの鬼たちが夜に出没することを意味するが、この「百鬼」は数だけではなく同時にたくさんの種類(姿かたち)の鬼たちということも意味しているのである。

中世になると、寺社の縁起・靈験、高僧の伝記などを描き語る巻物形式の絵物が制作されるようになるが、そのなかのエピソードとして「鬼」(妖怪)の姿が描かれるようになる。怖ろしい「鬼」を絵画化するということは、おそらく「鬼」に対する一定の距離感、つまり恐怖心が減少し、むしろその絵画を楽しむという思いが高じてきたことを意味する。実際、その後、『酒吞童子絵巻』や『土蜘蛛草紙絵巻』のような、武将が鬼を退治する話を描いた絵巻が人気を博するようになる。

そして、中世には、日本の妖怪史でも特

筆すべきことが起こった。アニミズム的な考えが、人間が作った道具にまで拡張され、道具などの靈魂も妖怪化することがある、とされるようになったのである。たくさんの種類の妖怪たちが群行している様子を描いた『百鬼夜行絵巻』には、さまざまな道具の妖怪たちも描かれている。

日本の妖怪文化のもう一つの特徴は、さまざまな怪異・妖怪現象や存在に対して、「名づけ」をほどこしていったことである。例えば、山で小豆をといでいるような音がすれば、それを特定の妖怪存在、例えば狸が引き起こした怪異現象の一つとするのではなく、その現象を「小豆洗い」と名づけ、さらにその現象を存在化し、ついには絵画化するに至ったのである。つまり「小豆洗い」という妖怪が小豆をとぐような怪音を立てるという具合に。この結果、おびただしい妖怪現象名、妖怪存在名が生まれることになった。

しばしば日本にはどのくらいの妖怪がいるかとの質問を受けるが、これまでの説明からもわかるように、それに答えるのは難しい。日本には数え切れないほどの妖怪種目・妖怪名彙が存在しているからである。

さらに江戸時代になると、そうした妖怪種目は、絵師たちによってその姿かたちを楽しむために絵画化されるようになった。もちろん、江戸のような都市の住民の多くは、まだ妖怪を怖れる気持ちも持っていた。しかしその一方で、娯楽の対象としての妖怪を自分たちも作り出すことができると思うようにもなり、次々に新しい妖怪が世の中に送り出されたのであった。怪談会が催され、妖怪小説が書かれ、妖怪芝居が演じられ、それに素材を求めた妖怪画がたくさん生み

出され、さらには妖怪グッズのたぐいまでも生まれてきたのである。現代の妖怪文化の原型はこのころにはもう形成されていたといえるだろう。その「豊かさ」は計り知れないものがある。

私がしばしば「世界に誇れる日本の妖怪」というのは、こうした妖怪文化の「豊かさ」のことであって、その延長上に、水木しげるをはじめとした現代の妖怪文化の創造者たちがいるのである。それがおそらく日本が多様なコミックやアニメ、ゲームなどを次々に生み出す源泉となっているのではなからうか。「妖怪ウォッチ」もその例外ではないはずである。

妖怪に相当する現象・存在はどの国や民族にもある。しかしながら、これほど豊かな内容をもった妖怪文化を生み出した国や民族はいないのではないか。だとすれば、日本人はそれを誇り、その歴史や意味をしっかりと研究し、その保存と活用をはかるべきであろう。

小松和彦 (こまつ・かずひこ)

国際日本文化研究センター所長。専門は、民俗学・文化人類学。1947年東京都生まれ。東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程単位取得退学。信州大学助教授、大阪大学文学部助教授及び教授を経て、1997年より国際日本文化研究センター教授。その後2010年より同センター副所長を兼務、2012年4月より現職。2013年紫綬褒章受章。著書は、『神々の精神史』(講談社学術文庫)、『憑霊信仰論』(講談社学術文庫)、『異人論』(ちくま学芸文庫)、『憑霊論』(ちくま学芸文庫)、『妖怪学新考』(小学館ライブラリー)、『いざなぎ流の研究』(角川学芸出版)、『妖怪文化入門』(角川文庫)、『「伝説」はなぜ生まれたか』(角川学芸出版)、『呪いと日本人』(角川ソフィア文庫)など多数。

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

ルーマニアから見た日本

—研修旅行で来日した、さくら日本語学校の皆さんに、日本語の勉強や日本の印象、将来の夢について聞きました。

ジュリア ヴェアドさん(高校生)

日本語は3年勉強しています。日本の伝統文化とポップカルチャーに興味があったので、勉強を始めました。漢字はおもしろいですが、難しいです。日本は町がそれぞれユニークで、様々な面を持っているところが興味深いです。日本にいる間に、伝統料理を食べたり、重要な施設やお店に行ったりしたいです。将来は法律と外国語を勉強して、大使館で働きたいです。

パトリツィア グリゴレスツさん(高校生)

日本のアニメとマンガが好きで、日本に留学したいと考えています。単語を覚えるのが好きです。漢字が難しいです。人々は親しみやすいです。美しい景色とおいしい食べ物があって、とてもきれいな国だと思います。ラッシュアワーの電車は人が多くて、びっくりしました。日本で寿司を食べたり、マンガを買ったりしたいです。お寺とカラオケに行きたいです。

パラン アンドレア ロアナさん(高校生)

訳詞のない日本のボーカロイド曲を理解したくて、2年前から日本語を勉強しています。漢字はおもしろいですが、文法は難しいと思います。日本は美しい場所がたくさんあって、親切な人々と素晴らしい文化のある国だと思います。自動販売機が多くて、びっくりしました。日本の大学に入りたいと思っていますので、大学についての情報をもっと集めたいです。新海誠や宮崎駿のようなアニメーション作家になりたいです。

アナ ドングビエさん(高校生)

日本の文化が好きです。日本語の文字を書くのが難しいです。街がきれいで、人々は礼儀正しく親しみやすいと思います。猫カフェと東京ディズニーランドに行きたいです。将来、犯罪捜査官になりたいです。



アンドレイ スタンさん(大学生)

6か月勉強しています。日本のマンガとアニメが好きです。街はいつも込んでいますが、人は礼儀正しくて親しみやすいです。ヨーロッパの街に比べると、日本はいろいろなタイプの街があって興味深いです。通訳者になるのが夢です。

コディン マノレスチンさん(高校生)

2年間日本語を勉強しています。難しくて勉強する価値のある言語を学びたくて、日本語を選びました。日本はかわいい国だと思います。日本の食べ物や街、方言がおもしろいと思います。日本でできるだけ日本語を勉強して、通訳者になりたいです。

ドミトラシェ マヤさん(高校生)

日本語は9か月勉強しています。アニメを見たり、マンガを読むのが好きで、日本

はおもしろい国だと思って、勉強を始めました。日本語の文法はシンプルですが、漢字は難しいです。日本はきれいですてきな国だと思います。そして、素晴らしいマンガとアニメの店があります。日本人は親切です。高層ビルや、お祭り、日本の食べ物、お寺が興味深いです。秋葉原のふくろうカフェと猫カフェに行って、ラーメンを食べたいです。

ロス テオドラさん(高校生)

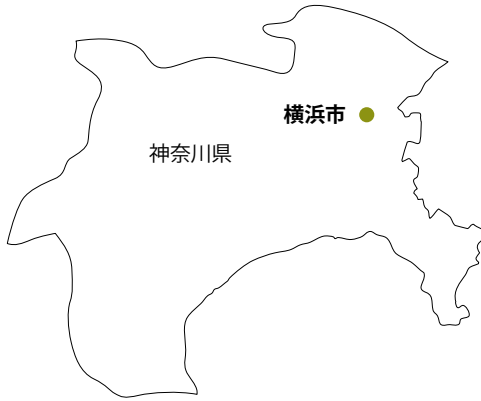
日本で働きたいので、日本語を勉強しています。漢字が好きです。日本は美しい国だと思います。とくに、お寺がおもしろいです。高層ビルがたくさんあって、驚きました。もっと日本語を勉強して、日本の様々なことを知りたいです。



日本語ご紹介

国内編

神奈川県 横浜市



神奈川の公立高校での日本語教育

神奈川県立鶴見総合高等学校

泉一彦

外国人生徒受け入れ状況

神奈川県立鶴見総合高等学校(以下、鶴総)は平成16年に、寛政高校と平安高校の二つの県立普通科高校が統合されて開校した総合高校です。学校の規模は1年次から3年次までで計20のホームルームクラスがあります。総合高校では普通高校とは異なり、多種多様な授業選択が可能で、その一つとして在日外国人対象の日本語授業クラスが設置されています。

神奈川県立の県立高校では9校が入試に際し在日外国人枠(全県で計94人)を設けて、在日外国人を受け入れています。鶴総では昨年度は県内最多の20人の在日外国人生徒を受け入れました。また、一般入試枠からの入学生にも外国人生徒は多数いますので、各年次(学年)にそれぞれ30名程度、学校全体では約100名の外国につながる生徒が在籍しています。彼らの日本語力は様々で、日常会話もおぼつかないニューカマーから、小学生から日本に定住して一般の日本人生徒よりも遙かに能弁な外国人生徒までいます。

外国人支援の実状

横浜市鶴見区はもともと居住外国人が多いところで、統合される前の普通高校時代

から、外国人生徒が多く入学してきました。そのような経緯から、鶴総では多文化共生の視点に立った様々な実践に取り組んできました。保護者配付の全文書にルビをふり、三者面談時の保護者への通訳配置を徹底しました。また、生徒会組織に多文化交流委員会を発足させ、教職員・PTAへの研修会も頻繁に執り行ってきました。授業では、外国人生徒対象の取り出し授業を、1年次はほぼ全科目に、2年次は現代文・世界史・保健等の科目に設定しています。日本語の授業はその流れの一環として統合以前から開講していました。

鶴総の日本語授業

現在、鶴総の日本語の授業は50分授業を週2回、都合2単位科目として開講しています。クラスは初級3クラスと中級2クラスの計5クラスです。うち4クラスは教師2名のチームティーチング(TT)で授業を行っています。教員9名の内訳は、国語5名、英語2名、社会1名、日本語1名となっています。

教材は市販の日本語教科書のほか、他教科の教科書本文や自主教材を使用しています。

授業では次の二つの日本語力向上を目指しています。一つはより流暢で自然な生活言語としての日本語力向上です。もう一つは授



授業に必要なものは……やっぱ笑顔です!

業内容を正確に理解するための学習言語としての日本語力向上で、これは2・3年次では取り出し授業が一部に限られてしまい、多くの科目では一般の日本人生徒と机を並べて学習することによります。

日本語授業の課題

在日外国人枠で入学した生徒の卒業後の進路未定者(含就職進学浪人)の割合は、一般入試で入学した日本人・外国人生徒が20%程度であるのに比べて非常に高く、約70%にもなります。これは、在留資格が確定せず、簡単には進学や就職の道に進むことができないという点が最大の問題ですが、また在学中に学習言語を身に付けきれず、就学の意欲や機会を失ってしまったことにもよると考えられます。その観点からも、日本語担当者にとって、生徒の学習言語としての日本語力向上は喫緊の課題となっています。現在その課題解決をめざして、日本語授業と他教科の連携を深めようとしています。特に、文意を把握しにくい社会科系の科目や、専門用語が多い理科系の科目などは、他教科の教科書本文を日本語の授業の教材に取り上げて学習するなど、従来の日本語の授業とはやや異なった授業実践に日々取り組んでいるところです。

クラス	言語圏	主な出身国	生徒数	TT	年次	使用教科書
初級1	漢字圏	中国	7	×	1	自主教材
初級2	非漢字圏	フィリピン ネパール	5	○	1	みんなの日本語初級Ⅱ 漢字英語版 みんなの日本語初級Ⅱ 初級で読めるトピック25
初級3	非漢字圏	フィリピン	6	○	1・2・3	中級を学ぼう 中級前期
中級1	漢字圏	中国	11	○	1・2・3	自主教材
中級2	非漢字圏	フィリピン	7	○	1・2	自主教材

* 鶴総では初級3のクラスで『中級を学ぼう 中級前期』を採用しています。

詳しくは『人権と多文化共生の高校 ―外国につながる生徒たちと鶴見総合高校の実践』(明石書店) 参照



日本語ご紹介

海外編

ルーマニア ブカレスト



ルーマニアに「和の心」を伝えたい

さくら日本語学校 副校長

ジディウク・アレクサンドラ

ルーマニアの日本語学校

さくら日本語学校はルーマニアのブカレストにある、日本語と日本文化を学べる教育省認可の学校です。教師はルーマニア人4名と日本人の鬼澤先生の計5名です。クラスは一般クラス(初級～上級)、日本語能力試験対策クラス(N5～N1)、子どもクラス(4歳から)、ビジネス日本語クラスのほか、サマーコースもあります。

当校では子ども、高校生、大学生、一般成人、余生を異なる趣味にささげたいと考える年金生活者まで、様々な人が学んでいます。日本語を学ぶ生徒たちは皆、茶道、武士道、着付けといった日本の伝統文化や、特に若い世代に人気のマンガやアニメといったポップカルチャーをきっかけに、日本文化や日本語に興味を抱いたようです。また一方で、仕事で日系企業とつながりがあるために、日本文化を学ぶビジネスマンもいますし、将来より多くのチャンスを与えたいと考える親が、幼い子どもを学ばせているということもあります。

授業では『みんなの日本語』とその周辺教材を使用しています。私たちは常に日本語教育の新しい動きをとらえられるように努力しています。

本当の「日本」を紹介するために

日本語を学ぶ際、言葉だけでなく、日本文化や日本人の考え方を学ぶことも非常に重要です。そのため、毎年4月と8月に日本への語学研修旅行を開催し、そこで生徒たちが日本文化を体験し、実際に日本語を使う機会が持てるようにしています。日本の日本語学校とも提携しており、この夏の研修旅行では8人の生徒が東京中央日本語学



自分たちで作ったお寿司を試食しました。

院で日本語を学びました。また京都民際日本語学校の日本文化集中コース(茶道、お寿司作り、チャンバラ体験、花火大会)にも参加しました。日本で皆さんに温かく受け入れていただけたことは大変有難く、今後よりいっそう関係を深めていけると確信しています。

また、ルーマニアでは定期的に日本文化を紹介するワークショップを開催し、茶道、書道、着物の着付け、生花、折り紙、日本料理、剣道などを取り上げています。

今年10月から日本文化を紹介するブログを立ち上げ、日本へ語学研修旅行に行った生徒たちを紹介し、彼らの体験や日本観を共有しています。また、日本文化をより深く理解するために、ルーマニアや日本にいる日本人にも登場してもらっています。

今年は大きなプロジェクトとして、日本文化や教育に関する本を出版予定です。ルーマニア語、英語、日本語の三か国語で出版し、日本に興味を持つ世界中の人々に読んでもらいたいと考えています。

絵カードやDVD、パソコンなども使い、いつも楽しい授業を心がけています。

日本語学校を立ち上げた理由

校長である主人は、17年前ケンブリッジで英語のサマーコースを受けていたときに、日本語と出会って、日本語の勉強を始めました。そして、日本に留学し、現在も勉強を続けています。主人に影響を受け、私も日本語学習をはじめ、2010年1月にさくら日本語学校と一緒に立ち上げました。

私たちはルーマニアで日本文化を積極的に広報しています。それはルーマニアの人々に日本や日本の教育について、もっと理解してほしいと考えているからです。日本の社会規範や日本的な考え方はヨーロッパではあまり馴染みがありません。それは例えば、学校で子どもたちが自分たちで教室を掃除することや、自己中心的ではなく、常に周りの人の気持ちを考えて行動するといった考え方です。このような日本の文化をルーマニアに採り入れれば、子どもたちにとって、より多くのチャンスにつながるのではないかと考えています。これがルーマニアで日本語学校を始めた理由です。

不安定な事業ではありますが、さくら日本語学校の運営を通して、次の世代のためにより良い環境、より良い教育を与える機会を増やし、明るい未来を作れると信じています。

教材紹介

みんなの日本語 初級I 第2版 会話 DVD / 同 初級II

スリーエーネットワーク

約 50 分(予定) 各 8,000 円+税 12 月発売予定

* PAL 方式もあります。

Now
Printing

『みんなの日本語 初級第2版 会話 DVD』 授業での効果的な使い方

目白大学 日本語教育センター長 石沢弘子

『みんなの日本語 初級 第2版』の会話 DVD が今年末にいよいよ発売となります。撮影は7、8月の暑いさなかに、制作スタッフ十数名、日本人・外国人総勢30名を超える出演者で行われ、多数のエキストラの方々の協力も得て、無事終わることができました。私は監修という立場で参加しました。日本語力が十分なイメージ通りの出演者が見つかるか心配でしたが、終わってみれば、素晴らしい人たちに恵まれたと思っています。

主役のミラーさんを演じたジリ・ヴァンソンさんは、日本のドラマへの出演経験もある俳優さんで、甘いマスクで日本語力も申し分のない素敵な人です。お似合いのカップルだったサントスさん夫婦、クララさん、カリナさんはいずれも日本へ勉強に来ている留学生、ワットさんは『みんなの日本語』の翻

訳者で、わざわざ撮影のために来日してくれました。撮影現場では、日本語のモデル足り得るようアクセントやイントネーションを厳しく指導し、何度もやり直してもらった場面もありましたが、皆さん一生懸命努力してくれました。お蔭で日本人キャストとの差も目立たず、自然な速さに近い日本語会話の DVD になったのではないかと思います。

映像には、様々な国から来た人々が、それぞれの環境で日本人と日本語で交流を深めながら、積極的に活躍する姿が映し出されます。人々の表情やしぐさだけでなく、日本の生活習慣や文化が理解できるように背景情報も盛り込まれています。ことばの学習だけでなく日本事情の学習にも使っていたらと思います。

DVD を授業で利用するメリット

- ① 学習者の興味関心・学習意欲を高める
- ② 場面・状況に関する情報を正確に提示し、理解を容易にする
- ③ 教室学習の限界を超え、学習者の疑似体験を可能にする
- ④ 記憶を強化し持続させる

DVD を使った授業の実践例

各課の「会話」はその課の学習項目に挙げられた文型の導入と練習が全て終わった後に学ぶことになっています。学習時間は30分程度が目安です。以下は標準的な進め方です。

- ① **モニタリング** モデル会話を字幕なしで通して視聴する
- ② **場面の理解** 会話の場面状況について、

習った日本語で学習者に質問する

- ③ **語彙・文法** 字幕を出し、会話に初出のことばや会話表現、文型の意味の確認をする
- ④ **役割練習** 字幕付の DVD を視聴し、一時停止しながら、クラス全体で登場人物ごとに模倣練習をする。その後ペアを組んで役割練習をする
- ⑤ **応用会話** 談話の流れを生かし、ペアで学習者自身の状況に合わせた内容で発表する

次は学習者に発話を考えさせる進め方です。

- ① **場面状況の理解** 音声を消し、映像だけを見せ、場面状況を理解させる
- ② **DVD の視聴** 音声を出し視聴、発話を考えさせたい箇所の前で一時停止、「ここで登場人物は何と言うか」、まず個人で予測、次にグループで話し合わせる
- ③ **DVD の再視聴** 考えさせる部分を空欄にしたスクリプトを配布、視聴しながら、発話を聞き取って記入するよう指示、予測した発話とのすり合わせ、コメントを行う
- ④ **役割演習** 標準的な進め方に準じる
- ⑤ **応用会話** 同上

中級レベルの会話練習にも上記のような方法を使って学習が可能です。このレベルは語彙や表現文型を多く習得しているので、場面状況に応じたより適切な使い方を指導します。「ちょっと難しいけど、おもしろくて役に立つ！」学習者の声に応える DVD の活用を期待しています。



ジリ・ヴァンソンさん「大学生の時『みんなの日本語』で日本語を勉強しました。ミラーさんを演じられて嬉しいです。」

中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版(仮)

平井悦子 三輪さち子 著

本文 180 頁 別冊 40 頁 CD1 枚付(予定) 2,200 円 + 税 2015 年 1 月発行予定

Now
Printing

待望の第2版、近日発行!

平井悦子

2004 年、初級から中級へのスムーズな移行を助けることを目標に、初中級教材『中級へ行こう 日本語の文型と表現 59』初版第 1 刷を出版いたしました。お陰様で多くの日本語学習者に利用していただき、刷を重ねてまいりました。

初版出版から 11 年。この間、社会の情勢が変わり、本書の内容に現況にそぐわないところや、データの古くなった箇所が出てきました。そこで、使いやすさはそのままに、内容やデータを新しくして現況に合わせ、練習問題も精度を高めるべく検討し、改訂することにいたしました。主に以下の 5 つの点が新しくなります。

その1

各課の「学習項目」(初版「新しい文型と表現」)のページに、意味用法に関する日本語の説明を入れ、英語、中国語、韓国語、ベトナム語の訳を付けます。

その2

新たに「チェックシート」を追加(各課 1 ページ 10 問)。その課で扱っている語彙や文法がマスターできたかどうかを 5 分程度で確認できます。

その3

巻末に漢字練習のページを追加。各課にある「本文」がルビなしで読めることと漢字語彙を増やすことを目標に作成。「本文」に使用されている漢字を 10～20 字取り上げ、

漢字→語彙レベルの順で読みの練習をした後、ルビの付いていない本文を読むことで仕上げの確認をします。

その4

別冊の語彙リストには、英語・中国語・韓国語の訳に加え、新たにベトナム語訳を掲載。

その5

Web 上に教師用ガイドを掲載。今までの経験から、教える際の注意点、手順、発展練習などを課ごとにまとめてあります。

今後もより多くの日本語学習者の皆様に使っていただけることを願っております。

日本語教育叢書「つくる」教科書を作る

関正昭 平高史也 編著

本文 183 頁 1,800 円 + 税 好評発売中

教材開発のプロセスを具体的に紹介する、シリーズ7巻目!

元東海大学教授 関正昭

本書は、日本語教育叢書「つくる」の7巻目として刊行されました。このシリーズには、全巻を通して次のような刊行の趣旨が貫かれています。

- ①自分たちの手で教科書や教材を作ろうと考えている方々に、教科書・教材作りのプロセスとノウハウや留意すべきことなどを紹介し、役立てていただく。
- ②「教科書・教材制作のプロセスの記録」を後世に残す。
- ③未来につなげるための新たな教材論の展開を促す。

どの巻も「作る前に」「作る」「作った後」の3部構成になっています。

本書の第1章「作る前に」で扱った主なテーマは次のとおりです。

- ・教科書とは、教材開発とは
 - ・言語教育や言語学習における教材開発の位置づけ
 - ・教材開発のプロセス
 - ・教科書開発のこれまで、および現状
- 第2章「作る」では『日本語中級 J301 — 基礎から中級へ—』の編纂プロセスをまさに「楽屋裏」までご覧いただけるように詳述しました。さらに、「教科書編纂の体験から学び得たこと」と「母語話者、非母語話者による教科書開発の利点や難しさ」について具体例を挙げて紹介し、論じました。

そして、第3章「作った後」では、「教科書開発の評価」「刊行後編者を離れて一人歩きを始める教科書」「教科書のこれから」について述べました。

以上のように、具体的な作成のプロセスばかりでなく、言語教育を支えるさまざまな研究成果や知見も盛り込んでありますから、日本語教育の現場だけでなく、大学や日本語教員養成講座等で日本語教育への道を志している人たちにも、テキストや参考書として広くご活用いただけるものと思います。

シリーズラインナップ

会話教材を作る	1,800 円 + 税
漢字教材を作る	1,800 円 + 税
読解教材を作る	2,000 円 + 税
作文教材を作る	1,800 円 + 税
テストを作る	1,800 円 + 税
聴解教材を作る	2,000 円 + 税
教科書を作る	1,800 円 + 税





なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて本体価格です

みんなの日本語 初級II 第2版 初級で読めるトピック 25	12月発行予定	1,400円
みんなの日本語 初級I 第2版 会話 DVD/同 PAL 方式	12月発行予定	各 8,000円
みんなの日本語 初級II 第2版 会話 DVD/同 PAL 方式	12月発行予定	各 8,000円
中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版(仮)	1月発行予定	2,200円

Seminars

セミナー

楽しく、わかりやすく、役に立つ初級の授業作り
—『イラスト満載! 日本語教師のための活動アイディアブック』を使って—

講師: 小山悟 (九州大学留学生センター准教授)

大阪会場

日時: 11月7日(土) 14:00-16:00
(受付開始 13:30)

会場: 愛日会館

(大阪府大阪市中央区本町4-7-11)

定員: 60名

協力: 凡人社

東京会場

日時: 11月28日(土) 14:00-16:00
(受付開始 13:30)

会場: TKP 麹町駅前会議室

(東京都千代田区麹町3-2 麹町共同ビル8階)

定員: 80名

協力: 凡人社

福岡会場

日時: 1月30日(土) 14:00-16:00
(受付開始 13:30)

会場: 博多バスターミナル9F 12・13ホール
(福岡市博多区博多駅中央街2-1)

定員: 70名

協力: 紀伊國屋書店 福岡本店

参加費: 無料

問合せ/申込み先:

スリーエーネットワーク講座係

102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: kouza@3anet.co.jp

電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください。お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。申込みは定員になり次第、締め切ります。

主催: スリーエーネットワーク

九州日本語教育連絡協議会

2015年度12月研修会

楽しく「読み書き」の活動を進めるために

講師: 澤田幸子 (一般財団法人海外産業人材育成協会 (HIDA) 日本語講師)

日時: 12月12日(土) 13:00-16:30
(受付開始 12:30)

会場: 麻生工科自動車大学校 7F 講堂
(福岡市博多区東比恵2-8-28)

定員: 100人

参加費: 1,000円

*当日会場でお支払いください。会員や学生の割引はありません。

申込み: こくちーズ <http://kokucheese.com/event/index/336157/>

問合せ: 福岡女子大学 川邊理恵
(E-mail: r-kawabe@fwu.ac.jp)

主催: 九州日本語教育連絡協議会

共催: スリーエーネットワーク

協力: 大谷書店

地域で活動する日本語ボランティアのための研修会 in 新宿

日時: 2月6日(土) 13:30-16:55
(受付開始 13:00)

会場: 新宿文化センター3階小ホール
(東京都新宿区新宿6-14-1)

研修会1「読解につながる文字学習」 (13:30-14:30)

講師: 本田弘之 (北陸先端科学技術大学院大学教授)

教材: 『すぐ書ける!きれいに書ける!ひらがな・カタカナ練習ノート』

研修会2「使える漢字の覚え方—初級学習者のために—」(14:40-15:40)

講師: 清水百合 (元九州大学留学生センター教授)

教材: 『[新版] BASIC KANJI BOOK ~基本漢字500』

研修会3「楽しく、わかりやすく、役に立つ初級の授業作り」(15:55-16:55)

講師: 小山悟 (九州大学留学生センター准教授)

教材: 『イラスト満載! 日本語教師のための活動アイディアブック』

定員: 200名(先着順。定員になり次第、締め切ります。)

参加費: 無料

問合せ/申込み先:

公益財団法人新宿未来創造財団 地域交流課

169-0072 東京都新宿区大久保3-1-2

TEL: 03-3232-5121 FAX: 03-3209-1833

E-mail: chiiki@regasu-shinjuku.or.jp

お電話以外での申込みの場合は、お名前・ご所属(グループ名)・お電話番号を明記してください。受付は12月4日(金)から開始となります。

主催: 公益財団法人新宿未来創造財団

協力: アルク、スリーエーネットワーク、凡人社

*講演終了後、17:00-18:00には日本語ボランティア同士の交流と情報交換会を予定しております。

Information

お知らせ

Ja-Net 75号 特別付録

『スリーエーネットワーク 妖怪カレンダー 2016』

巻頭記事「世界に誇る日本の妖怪文化」との連動企画! Ja-Net 読者の皆様に妖怪カレンダーをお送りします。記事に出てきた妖怪のほか、かわいい妖怪、かわいい妖怪が掲載されています。

国際日本文化研究センターの「怪異・妖怪画像データベース」にはさまざまな妖怪の画像が収録されています。大変おもしろいので、興味のある方はぜひご覧になってください。http://www.nichibun.ac.jp/YoukaiGazouMenu/index.html

Ja-Net No. 75

季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2015年10月25日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 日本印刷(株)

© 2015 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第76号は2016年1月25日発行です。